

平成21年度全学共通科目
「情報探索入門」第13回
(2009年7月3日)

総合演習
—文献リストの「書き方」を中心に—

京都大学附属図書館研究開発室
准教授 古賀 崇

1

本日の内容

- 講義・説明(～13時35分頃)
 - 授業内容の簡単なまとめ
 - 文献リストの書き方の説明
 - 補足
- 演習(～14時20分)
- 総合アンケートへの回答(14時20分～14時30分)

2

授業内容の
簡単なまとめ

3

「情報探索」のための手段

- 分類による概念の把握
- 参考図書(事典類)による把握
- 各種データベースの活用



KULINE 京都大学蔵書検索 CiNii
NII 国文学研究資料館

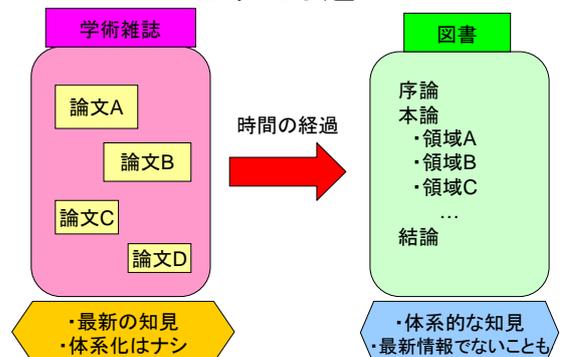
Web of Science® 4

検索の仕方のポイント

- 前方一致、後方一致、完全一致
- KULINEでの例
 - librar* → library, libraries, librarian(s)をカバー
 - (出版年の欄で) 199*

5

図書と学術雑誌・その中の論文との
基本的な違い



図書と雑誌論文の違いの認識を！

- 成果の掲載の早さ: 雑誌が先、図書が後
- KULINEとCiNii: どちらが何を調べられるか？

KULINE 京都大学蔵書検索

CiNii
NII 論文情報ナビゲータ[サイニ]

7

CiNiiからの論文入手の道のり: 「京大ArticleLinker」の活用

The screenshot shows search results for the article '政府情報 アクセスをめぐる諸問題 - IFLA 政府情報 公的刊行物分科会(GIOPS)関連(上)'. The '京大ArticleLinker' link is highlighted in red. Other search results are visible below, including one from '連邦機関 連邦図書館の概況 米国における政府情報アクセスに関する動向 - 連邦国会図書館調査研究報告書 米国の図書館事情2007/1 - (米国の図書館の概況)'.

8

「京大ArticleLinker」の活用(続き)

The screenshot shows the '京大ArticleLinker' interface. It displays article information for '政府情報 アクセスをめぐる諸問題 - IFLA 政府情報 公的刊行物分科会(GIOPS)関連セッション中(アクセス含レポート)'. Below the article info, there are four numbered sections: 1. 京大で提供中の論文(PDF/HTML)をみる, 2. フリーのフルテキスト(PDF/HTML)を探す, 3. 京大の蔵書を探す, and 4. 文献の取り寄せを申し込む. Each section includes links to search engines like Google Scholar, OASIS, and KULINE.

9

本日の演習課題: 文献リストの書き方について

※小冊子『参考文献の役割と書き方』
も参照のこと

10

引用・参考(参照)文献リストの役割 (小冊子p. 4)

1. 自身の論文の新規性、独創性、信頼性の明確化
2. 先行する著者(先人・先輩)に対する敬意
3. 出典の明示
4. 読者に対する情報提供



11

引用・参考文献リストをどう書くか

- 十分に正確な文献情報(書誌要素)を示す
- 表記法を統一させる

→ 実際には分野や雑誌によって表記法は微妙に異なる

– 指定された表記法に従わないと「ボツ」になる！

12

SIST02: 参考文献の書き方

http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm

- SIST = 科学技術情報流通技術基準 (Standard for Information of Science and Technology)
- SIST02の役割
 - 参考文献リストに記載すべき要素や書式を引用・参照元の情報源ごとに網羅的に定める



13

参考文献として書くべき要素 (小冊子p. 7~)



①著者

②標題

③出版・物理的特徴

④注記 (URL、アクセス日など)

14

本文との関連づけ (小冊子 p. 17-18)

①引用順方式

かしそれ以前にも、連邦憲法を出発点として連邦政府における情報管理を定めた規定を確認することができる⁴⁾。こうした歴史的経過の詳細については岡本の論考⁵⁾に譲り、以下では書類作成軽減法を起点とする

参考文献

- 5) 岡本哲和, “アメリカ連邦政府における情報資源管理政策: 1980年文書業務削減法を中心として (上)”, 関西大学法学論集, Vol. 42, No. 5, p. 101-119 (1992)

15

本文との関連づけ (続き)

②著者名・発行年方式

さて、市民社会形成に関わる新中間層以外の担い手を構想する議論もある。オルタナティブな発展論が現地の知識人や宗教者、NGO関係者から出され、先進国の研究者も共感を示した (西川編,2001; 西川・野田編,2001; 駒井,2001)。社会開発論は国際援助機関から

参考文献

- 西井涼子,2001,『死をめぐる実践宗教』世界思想社。
西川潤編,2001,『アジアの内発的発展』藤原書店。
西川潤・野田真理編,2001,『仏教・開発・NGO—タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』新評論。
日本村落社会学会編,2004,『東アジア農村の兼業化—その持続性への展望』農文協。

16

SIST02の解説書

- 藤田節子, レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方, 日外アソシエーツ, 2009, 144p.



17

補足

18

文献管理ソフト

- RefWorks、EndNote Webの解説
 - <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/erhelp/citation.html>
 - または図書館機構トップページ→「電子ジャーナル」「データベース」「電子ブック」のどれか→右上の「文献管理」

図書館機構 | KULINE | 文献管理 **RW EN** | ENGLISH | ヘルプ
EJ/DB認証システムFAQ 学外から電子リソースを使う



19

「情報探索のコツ」を分野ごとに解説

- 京都大学図書館機構 レファレンスガイド
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/refguide/>
- リサーチ・ナビ(国立国会図書館)
<http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>
- パスファインダーバンク(私立大学図書館協会東地区部会 企画広報研究分科会)
http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

20

図書館での講習会への参加を！

- 図書館機構トップページで随時案内
 - またはトップから「学習／研究サポート」→「講習会」
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



21